

# メカトロニクス京都2022

NKE社長 中村 道一氏

インタビュー



「原材料の調達難、高騰が続いています。工場自動化機器の受注残は、昨年との比較で2倍以上に増えた。一方、注残は、昨年との比較で高めて内向きのマインドで納期対応は厳しい。サプライチェーンの混乱に加え、部材の値上げも頻繁。やむを得ず当社も値上げをお願いしている。ただ、受注状況がスローダウンしている感じもあり、気を引き締めないといけない。幸い、コロナ

「新たな販路を使った試みを始めました。従来品からのデザイン刷新と耐久性向上で性能を高めたアシストスライ」

「新たな販路を使った試みを始めました。従来品からのデザイン刷新と耐久性向上で性能を高めたアシストスライ」

## CFを新たな販路に活用

（CF）で先行予約販売を始めた。人工筋肉で腰部の負担を軽減する商品。4月中旬から、サポーターがすでに150人を突破。新しい売り方として大きな選択肢ができた」

「今年の商品開発に力を入れる方針です。当社は一品一様生産が多く、人手がかかっている。そこで社内の現場改善にとどまらず、新商品まで生み出すプロジェクトを立ち上げた。モノづくりのプロセスを持っていることが強みで、外販を念頭にピッキングの自動化や無人化工程などで、他社が簡単にまねできない工夫を加えた商品開発を考えている」